

いきいき弥小っ子

ご家族団らんでの冬休みを



校長 黒部 道雄

あれほど暑かった2学期始めから、今は一面雪景色となり、冬の寒さを感じるころとなりました。この2学期間、子どもたちは仲間とかかわり合いながら学習などに自分の力を存分に発揮し、大きな成長を見せてくれました。学校行事や地域学習等で保護者や地域の皆様に大きなご支援をいただきましたことに厚く御礼申し上げます。

さて、今日で2学期が終了し、明日から子どもたちにとって楽しみな冬休みが始まります。曜日まわりの関係で今年は、18日間といつもの年よりも少し長い冬休みとなっています。

3学期の始業式には一人一人の子どもたちが、いつもよりも楽しく充実した冬休みであったなという満足感をもって、学校に来てくれることを願っています。

さて、私は子どもたちが健やかに成長していくためには、その成長段階に応じた心の栄養（愛情）が必要であると思っています。そして、言うまでもなくそれが最も満たされ、子どもたちが求めているところをご家庭であり、それは親御さんとお子さんとのかかわりやふれあいの中で蓄えられていくものと思います。

年末、年始のお休みの期間であってもお仕事などでなかなか時間とれないご家庭もきっとおありかと思えます。でも、可能な限り、お子さんと会話をしたり、お子さんの話をじっくり聞いたりしてみる、十分に甘えさせるなどにいつもより心がけていただき、この冬休みにご家族団らんでのふれあいの時間を多目にとられてみてはいかがでしょうか。

このような時間を繰り返すことで子どもたちは、愛されている気持ちを感じるとともに安心感をもち、自尊感情（自信）がより高まっていくものと思います。

また、この冬休みには、ご家族そろっての読書などはいかがでしょうか。本を読むことは、「想像力や考える力」を伸ばすといわれています。今、パソコンなどの普及で、瞬時に必要な情報を求めることができ、さまざまな情報や知識が目の前に飛びこんでくる時代です。こんな時だからこそ、じっくりと好きな本を選び読むことをおすすめしたいと思います。できれば親子で同じ本を読み、読後の感想などを語り合うことでお子さんとのふれあいをひろげていくというのはいかがでしょうか。

インフルエンザにご注意を

インフルエンザによる学級閉鎖措置が、お隣り三条市の小学校でとられました。年末・年始にかけて外出の機会も多くなる時期です。人混みをできるだけ避け、混雑する場所でのマスクの着用をおすすめします。また、帰宅後の手洗いやうがいの励行をいっそう心がけていただき、インフルエンザの予防に努めていただければ幸いです。

各プロジェクトの取組⑥(根っこプロジェクト)

子どもたちのあいさつの意識を高めようと、根っこプロジェクトが推進役となり、活動を展開しています。

11月は児童会を中心にした各学級でのあいさつ運動が展開されました。学級ごとに工夫を凝らし、高学年玄関や低学年玄関に立ってあいさつをリードしました。寒い時期でありましたが、一生懸命あいさつを呼びかけました。また、あいさつをされたら返すということも併せて意識化していきました。毎日のあいさつ運動の様子は、給食の時間に、運営委員会がよくできたところと学級のMVPを紹介していました。

あいさつの意識化を図るため、粘り強く継続的な取組を今後も続けていきます。地域でもあいさつを呼びかけてくださる方が多く、あいさつの輪が広がっています。ありがとうございます。今後ともご協力をお願いいたします。



表彰を受けた子どもたちを紹介します

「わたしの住むまち 絵のコンクール」

○金賞 3年 高田さん

「燕・西蒲原 歯科保健図画・ポスターコンクール」

○金賞 3年 北村さん

「新潟県ジュニア美術展覧会」

○奨励賞 1年 大久保さん 4年 水澤さん 5年 関川さん

「新潟県中越教育美術展」

○特選 4年 中川さん 佐藤さん 本間さん 5年 新井さん

○金賞 1年 五野上さん 2年 稲葉さん 本多さん

3年 遠藤さん 立島さん 丸山さん

4年 東樹さん 5年 伊藤さん 大塚さん 三富さん

「新大全国競書大会」

○特選 2年 高橋さん 3年 稲田さん

○準特選 6年 小林さん

「新潟県競書大会」

○準特選 2年 曾山さん 3年 渡邊さん

「新大全国硬筆大会」

○特選 2年 小川さん 3年 稲田さん

○準特選 1年 川端さん 2年 佐野さん 4年 田中さん

5年 堀奏さん 6年 滝本さん

「新潟県児童生徒科学発表会(いきいきわくわく科学賞2011)」

○奨励賞 5年 小柳さん 5年 堀さん



お知らせ ~子どもたちを輝かせる地道な努力を応援する「博報賞」文部科学大臣奨励賞を受賞~

財団法人「博報児童教育振興会」は、文部省(当時)認可の財団法人として、1970年に設立され、以来、児童生徒の人間性育成に貢献・努力している学校・団体・教育実践者を「博報賞」として顕彰しています。

この度、氏子青年会と弥彦小、弥彦中の伝統継承活動への取組が「日本文化理解教育部門」の最優秀と認められ、文部科学大臣奨励賞を受賞することとなりましたので、紹介いたします。

